

# 令和8年度 横浜市立浦島小学校 学校説明会

- 1 校長あいさつ
- 2 中期学校経営方針について
- 3 お知らせ





# 校長あいさつ



## 〈学校教育目標〉

### ○自ら学ぶ子

知：自ら進んで学習に取り組み、見方・考え方を働かせ、友達と協働して解決に向かって学び続ける子を育てます

徳：多様な人とのかかわりを通して思いやりの心をはぐくみ、自分や相手を大切にする子を育てます

体：自分の体や心に関心をもち、健康的な生活を送ろうとする子を育てます

公：地域の材に学びながら地域に愛着をもち、地域に進んでかかわろうとする子を育てます

開：多様な人とのコミュニケーションを通して視野を広げ、持続可能な社会の創造に向け行動しようとする子を育てます

浦島小学校は、81名の1年生を迎え、全校児童559名で令和8年度がスタートしました。

「自ら学ぶ子」の学校教育目標のもと、今年度も子どもたちの課題解決能力やコミュニケーション力を育み、自己肯定感を高めることに力を入れて日々の教育活動を進めています。これらの力は、浦島小学校に通う子どもたちにとって今必要な力であるにとらえ、子ども一人ひとりに身に付くよう、教職員一同、「チームうらしま」として一丸となり、一つ一つの教育活動に着実に取り組んでまいります。

保護者の皆様は、子どもたちの健やかな成長を共に支えていく大切なパートナーです。今年度も、保護者の皆様との顔の見える関係づくりに、さらに力を入れていきます。子どもたちや保護者の皆様の声を大切にし、これまで培ってきた本校のよさや伝統を継承しつつ、だれもが誇れる浦島小学校をめざしてよりよい教育活動を模索し、取り組んでまいります。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

# 中期学校経営方針

中期学校経営方針には、学校教育目標を実現するための中期的な方針や具体的な取組について記載をしています。毎年、学校評価をもとに見直しを図っております。

今年度は、3年スパンの2年目にあたり、教育委員会から示された、これからの学校経営で大事にしたい下記の2つの点について重点化をはかっております。

- ① 子どもの声や意見等のカリキュラム・マネジメントへの反映
- ② 教育 DX の推進に向けたデータや ICT 等の効果的な活用

# 中期取組目標

自ら学ぶ子の育成

**○育成を目指す資質能力を意識し、課題解決的な学習活動に取り組みます。**

・子どもたちの思いを大切にし、子どもたちが自ら課題を設定し、解決するための学び方を身に付けられるようにします。

・話し合い活動を通して、子どもたちが考えを広めたり深めたり、解決策を導き出したりする力を付けます。

・対話的な活動を通してコミュニケーション力を身に付けるようにします。

**○「わかった」「できた」の経験や人との関わり、自己選択、自己決定等を通して、子どもたちの自己肯定感を高めます。**

・子どもたちが安心して自分らしさを発揮できる環境をつくります。

・教職員が子どもたちの自己肯定感を高めるための手立てについて共通理解を図ります。

・子どもたちの具体的な姿を見取り価値づけます。

# 中期学校経営方針

## 重点取組分野

- 授業改善
- 人権教育
- 健康教育
- 地域連携
- いじめへの対応
- 人材育成・組織運営（働き方）
- 特別支援教育
- 安全管理

## 授業改善

- ① タブレットを有効に活用し、子どもたちが自らの学びを選択、決定できるようにする。
- ② 他者と協働する学習や課題解決的な学習を通して、子どもたちのコミュニケーション力を高めるとともに、子どもたちができた、わかったをたくさん経験できるようにする。

## 人権教育

- ①子どもたちの思いを大切にした児童会活動、たてわり活動、学年や学級での活動などを通して、自分も周りの人も大切にできる行動ができるようになる。
- ②学級で子どもたちの思いをもとに人権にかかわる目標を立て、他者を大切にできる温かい学級風土をつくる。

## 健康教育

- ① 体育の学習では、運動量や時間を確保し、子どもたちが思い切り体を動かした満足感や、できた、上達したという達成感を味わうことができるようにする。
- ② 体育の授業や体力テストの結果、子どもたちの思いを大切にしたすくすく会議などを通して、子どもたちが自らの体力の向上と、心と体の健康のために行動できるようにする。

## 地域連携

- ①地域の人や関係機関、幼保とのつながりを大切にした学習を子どもたちと共につくり、地域のひとやもの、ことから学ぶ。
- ②学校運営協議会、地域学校協働本部、PTA、かめの子クルーなどと連携し、教育活動の充実を図る。

## いじめへの対応

- ① いじめを生まない温かい学級、学校風土づくりや毎日の健康観察（スタナビの活用）、定期的なアンケート、YPの活用、児童が教員に相談しやすい環境づくり、いじめ防止に関する児童同士の話し合いなどのいじめの未然防止に取り組む。
- ② 学校として組織的な対応をしていくとともに、学校の取組について発信し、保護者や地域の方々と共に、子どもたちの健やかな成長を支えていく。

## 人材育成・組織運営（働き方）

- ①互いに学び合い、高め合う教職員集団として、互いの授業を見合ったり、日常的に授業や子どもたちのことについて語り合ったりする。
- ②教職員の心身のゆとりを生み出し、日々の教育活動の充実や子どもたちの成長につなげていくことができるように、教育活動や業務の精選、見直しを図る。教職員の働きがいを高める。

## 特別支援教育

- ① 児童本人や保護者の思いに寄り添い、一人ひとりの興味関心や実態、ニーズに応じた支援をする。個に応じた支援として、タブレットを効果的に活用する（音声入力、ノートテイキング、アプリなど）。
- ② さわやか教室や国際教室を利用する児童の自己肯定感を高めることで、より安心できる場所にする。

# 安全管理

- ①安全管理マニュアルに基づいた避難訓練を行い、教職員の危機対応能力を高めると共に、子どもたちに自らの安全を確保するための判断力や行動力を育成する。
- ②安心安全な教育環境を保つために、日常的な環境の整備、点検、情報共有を行う。

# 今年度の教育活動について

○公共交通機関乗車の浦島小では、今後以下の場面で公共交通機関乗車に際してICカードを活用していきます。ICカードの準備などご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・ 2・3年生：遠足（11月頃）
- ・ 4年生：はまぎんこども宇宙科学館（12月頃）
- ・ 5年生：ふれあいコンサート（9月～11月）

## ○家庭学習について

今年度より、横浜市全小学校でAIドリル（モノグサ）が導入されます。本校では昨年より導入しております。AIドリルのよさ、課題点についても見えてきました。今年度より、紙の課題についても、学年の実態や個に合わせて、選択肢の一つとして児童が選ぶ場面を設けることとします。ご家庭でも、児童が自分の学びを選択し、自ら学ぶことができるようお声掛けをお願いいたします。なお、1年生から2年生の夏休み頃までは、「自分の学び」を選択する方法を学ぶ移行期とし、iPadを用いた学習は学校で指導しつつ、紙での課題を出して指導していきます。

## ○1年生の前期「あゆみ」について

これまで、観点別学習状況欄の表記については、ABCの3通りでしたが、1年生前期の表記に関しては、今年度より2段階のBとCにし、後期よりABCの3段階評価とします。